

14. 星の乙女 (イゴロット ポントック)

あなたが、高い空を見る時、特に夜、視界をさえぎるような雲が全くない時、あなたは何千もの華やかにきらめく星たちが、ダイヤモンドのようにきらきら輝いているのが見えるでしょう。

あなたが、目を凝らして見るなら、3つの特に輝く、並んだ星が見えるでしょう。これらの3つの星は「三人姉妹」と呼ばれています。これらの3つの星から、そんなに遠くないところに、それらよりずっと大きく、ずっと輝いている星があります。これは、「星の乙女」で、その三人姉妹の母なのです。

どうして、これらの4つの星は、空の中で、ほかのすべての星と違っているのでしょうか？これが彼女らのお話です。

昔々、熱心に働く若者がいました。彼はさとうきび農園を持っていて、それはその地の何百エーカーも占めていました。

農園が広いので、若者はさとうきびの作物を維持するために、大変熱心に働かなければなりません。彼は毎日、夕暮れから、夜明けまで、畑で働きました。しかし、毎日長い時間、一週に七日働いても、彼は決して不満を言いませんでした。ただ、熱心に働くことによって、富と繁栄が褒美として与えられる、と彼は知っていたのです。

若者の質素な家は、さとうきび農園の中心近くにあったので、彼は、朝、仕事へ行くのに遠くまで歩く必要はなかったのです。そして、彼の大切なさとうきびが育つのを見張ることもできました。

若者の家の周りには、美しい庭があり、彼はそこを魅惑的な植物や低木を植えて、いっぱいにしていました。その庭は、何十種類もの魅惑的な鳥や蝶がその色あざやかな場所に住みつき、庭を自分たちの家にしていました。

若者は仕事をして、生活はとても幸せでした。しかし、欠けたものがひとつありました。彼には伴侶を探す時間がなかったのです。ですから、時々、特に夜には、淋しさを感じていました。

輝いたある日の早朝、ちょうど朝日が出ている時、若者は、毎日同じ時間にそうするように、彼の小さな家を出て、さとうきび畑に仕事を始めるために歩いていました。

しかし、この特別な朝には、彼の畑に異常なことが起きているのに彼は気付きました。捨てられた何十ものさとうきびの皮や茎が、広い地域に散らばっていたのです。夜に、何物かが彼の畑に侵入して、彼のさとうきびを食べたのです。このことは、その若者を動揺させました。彼はずっと勤勉に働き、最愛の作物のために気遣ってきたのでした。

若者はすぐに村へ行って、部族の長老たちの助言を求めました。彼らは、その地の法律を管理する仕事をしていました。長老たちの賢明な会議によって、村とその周りの地域は、特に重大な犯罪には見舞われなかったのです。当時は、人々は、法律とそれぞれの資産を尊重していました。そこは、平和で法治社会でした。

長老たちは、善良な若者から何者かが奪ったことに衝撃を受け、すぐにその事件の調査を始めました。彼らは、村とその周りの地域のすべての独身の男性、女性と子どもたちに、その事件についての証言を見つけられないか、面接したのです。しかし、だれもその事件が起こった夜に、異常な物や人を見ていませんでした。事件の証人は見つけれませんでした。

部族の長老たちは、彼らの地域の外からやってきた人々の犯行ではないか、と疑い、その若者に農園へ帰って、次の夜、密かに彼のさとうきび畑を見張るように、助言しました。

そこで、若者は彼の農園に帰り、長老たちの賢明な助言に従うことにしました。その夜、夕食後に彼は大量の強いコーヒーを飲んで目を覚まさせて、そして大きな古いアカシアの木の陰に隠れ、前の晩に犯罪が行われた場所に近づいて、泥棒たちが、もっとさとうきびを盗むために帰ってくるのではないかと、見ていました。

村全体は寝静まっていたので、若者はアカシアの木の陰で、コオロギだけを仲間にして、待っていました。しかし、突然、コオロギは夜の合唱をやめ、あたかも、何かが起こるのを待つように、とても静かになりました。

若者は声を聞きました。彼は忍び足で、彼の気の裏から、高いさとうきびを通して、不思議な女性の声のする方に、こっそり追跡して行きました。彼は地面に座って、さとうきびを引き戻して、何が起きているのか見ましたが、彼は衝撃を受けました。

びっくり仰天している彼の目の前で、彼のさとう

フィリピンの神話と伝説

きび畑の中で、踊ったり、クスクス笑ったり、歌ったりしているのは、何十人もの美しい乙女たちでした。しかし、これらは人間の乙女たちではありませんでした。彼らは流れるような青いドレスを着ていました。それらは月の光の中で、不気味に輝いていました。彼女たちの肌は、壊れやすい磁器のように、なめらかで、半透明で、彼女らの青い目は、星のようにきらめいていました。

これらの「天使たち」は、踊ったり、畑の上空に浮かんだり、若者のさとうきびをムシャムシャ食べたり、世の中のことを全く気にしない様子でした。彼女たちは自由で、浮かぶ霊であって、それらはみんな、その若者が今までに見てきた中で、いちばん美しい創造物でした。

ついに、美しい裸足の乙女たちは、踊るのをやめて、若者のさとうきびを食べるのもやめて、家に帰る時だ、と決めました。彼らは、できるだけ急いで、金のスリッパを履いて、ひとりずつ、天に向かって浮いてゆきました。

若者は素晴らしい光景を見て立ちすくみ、動くことも話すこともできませんでした。しかし、すべての乙女たちが空に向かって飛び上がった時、彼はひとりの乙女が金のスリッパを探して、まだ跳ね回っているのに気付きました。魔法のスリッパなしには、彼女はほかの乙女たちに加わって、家に帰れないのです。

若者はこの美しい光景を見て、のぼせ上がってしまい、彼女を行かせることができませんでした。そこで、彼は、彼女のスリッパを見つけて、それを隠しました。そして若く美しい乙女に近づいたのです。彼は彼女に、自分がさとうきび農園の持ち主であることを告げました。乙女は驚いて、若者の許可なくさとうきびを取ったことを詫言いました。彼女はまた、彼女とその姉妹たちが「星の乙女たち」であること、そして自分たちが夜空にきらめくダイヤモンドのように点在していることを説明しました。さらに、彼女は、数百年おきに、夜空の女王は、星の乙女たちに、二晩続けて、何時間が地上に降りてくることを許可していることを説明しました。

若者は、若い星の乙女の物語を聞き、興味を持ちました。彼は、彼女にひとつの提案をしました。「私はあなたを罰しない。もしあなたがここに永遠に留まって、私の妻になってくれるなら。」

その星の乙女は、人間の若者には大変魅力があったので、躊躇することなく、彼の願いに同意しました。彼女は地上の生き物を愛し、ふたりは残り

の生涯を幸福に過ごすだろうと、確信しました。

そして、若者と美しい星の乙女は、夫と妻になりました。彼らは共に大変幸せで、数年後、彼らは3人の美しい娘を持った、立派な両親になりました。

しかし、天国では、夜空の女王は幸せではありませんでした。彼女の星の乙女のひとりが、彼女から逃亡し、彼女の夜空の義務と責任を無視したことで、怒っていたのです。女王は、すべての星の乙女たちに、もう地上へ行くことを禁じました。彼女はまた、若者に彼女のかわいい星の乙女に誘惑させる教訓を教える計画をもくろみました。

ある夜、若者が、簡素な彼の家の外で庭の番をしていると、彼は別の星の乙女が、庭を歩き回っているのを見てびっくりしました。この星の乙女は、彼が今までに会った中で、一番美しい女性で、彼の妻よりも美しかったのです。

その美しく誘発的な神々しい乙女が、彼女の輝く目を、若者に向け、彼を誘った時、彼はそれに抵抗できませんでした。彼女の官能に圧倒されて、若者は、彼女を引っつかみ、彼女に口づけ使用としました。その瞬間、彼は自分が夫であり、父であることを忘れていました。しかし、星の乙女は突然、怒り、荒っぽく若者を押しのけました。

「あなたは愚かな人間よ！」彼女は叫び、驚いている若者を、告発するように指差しました。「おまえの妻は、特別な力をあきらめ、お前の妻になり、お前の子どもたちを得るために、彼女の生涯の長い年月を犠牲にしてきた。それなのに、これが、彼女の忠誠と愛に対する、お前の報いなのか？」そして、星の乙女は夜空の女王が、彼を誘惑し、彼の忠誠を試すために彼女を送り込んだことを説明しました。「あなたは、試験に落ちたのよ！」若い乙女は、あざけりました。「あなたは、妻とあなたの子どもたちを裏切り、それによって、あなたは罰を受けるのです！」

星の乙女は、若者の目をにらみつけました。力のある明るい、輝くような光が乙女の目から出て、若者を見えなくして、それによって気絶して地面に倒れさせました。

次の朝、庭で若者が目を覚ますと、前夜に起こったことは、夢であったに違いない、と思いました。彼は立ち上がり、楽しそうに彼の簡素な家に入り、妻と彼の3人の娘たちに挨拶しようとしていました。しかし、彼らはどこにも見つかりません。彼らは夜の内に消え去ったのです。

フィリピンの神話と伝説

若者は一日中妻と3人の娘を捜しました。彼は畑や丘を探しましたが、彼らの形跡はありません。村や周りの地域を探しましたし、すべての人に、彼の愛する家族を見なかったか聞きました。しかし、手がかりは何もありませんでした。彼らは永久に去ったのです。

その夜、若者は悲しくひとりで庭に座っていました。彼は夜空を見上げ、いつものように、多数のきらめく星で輝いていました。しかし、前に見たものと何か前には見たことのないものがあるのに気付きました。線になって、3つの星が輝いて、それらの近くに、ひとつの特別な星が、天のほかのどの星よりも明るく輝いていました。

夜空の女王は若者の妻を3人の娘たちと一緒に、連れ戻し、夜空の特別な場所を与えました。そこで、毎晩彼の残りの生涯、彼は裏切りを喚起させるものとして、彼は家族を見ることができたのです。

これは、わたしたちが「3人姉妹」と「星の乙女」と呼ぶ、悲しい星の始まりの物語です。